

施工説明書

シャワートイレ用

大型壁リモコン・洗浄壁リモコン タッチスイッチ (発電式) / 洗浄壁リモコン センサースイッチ



メーカー管理用です。

必ず確認してください	2
部品の確認	3
準備工具	3
各部のなまえ	3
表示ランプ位置	4
施工方法	
■ リモコン位置決め	5
■ ホルダーの取付け	6
■ リモコンの取付け	7
試運転	7
各設定方法	
■ 流水音 (擬音装置) の設定 (DV-K213 型, CW-PA 型の場合)	8
■ 便器洗浄の設定 (DV-K213 型, CW-PA 型の場合)	9
■ 便器洗浄 大小⇄大 切替え (DV-K213 型, CW-PA 型の場合)	10
■ 初期設定に戻す (DV-K213 型, CW-PA 型の場合)	11
■ 洗浄水量を増やす (DV-K213 型の場合)	11
■ ペアリング (組合せ) 設定 <大型壁リモコン (発電式) の登録 (DV-K213 型, CW-PA 型の場合)>	12
<洗浄壁リモコン タッチスイッチ (発電式) の登録 (DV-K213 型, CW-PA 型, CW-PB 型の場合)>	13
<洗浄壁リモコン センサースイッチの登録 (DV-K213 型, CW-PA 型, CW-PB 型の場合)>	14
併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために	
■ オートフラッシュ C 対応でシャワートイレを 2 台以上併設する場合 (CW-PA 型)	15
■ 他のブースからの赤外線式リモコンで誤作動してしまった場合 (DV-K213 型, CW-PA・PB 型)	16

快適機能の設定はしないでください!

■ 快適機能の設定はお客さまにおまかせください。  
シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは  
お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。  
● 便座・温水の温度\* ● 脱臭機能 ● 節電機能  
● 便座ヒーターオート OFF  
\* : 試運転確認後、必ず「低」に戻してください。  
※機種によっては、一部機能がない場合があります。

必ず確認してください

トイレ本体とリモコンは、あらかじめペアで登録されていますので、同梱以外のペアで取り付けると作動しません。

必ず、同梱されているトイレ本体とリモコンの組合せで取付けを行ってください。

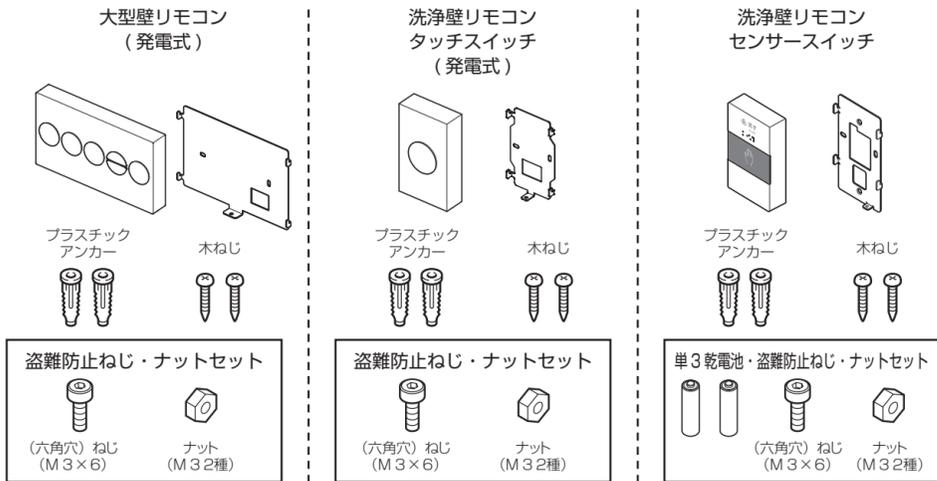
トイレ本体とリモコンの製造番号(8桁)が一致していることを確認してください。



❗ 組合せが分からなくなった、又はリモコンが作動しない場合  
「ペアリング (組合せ) 設定」をご確認ください。

部品の確認

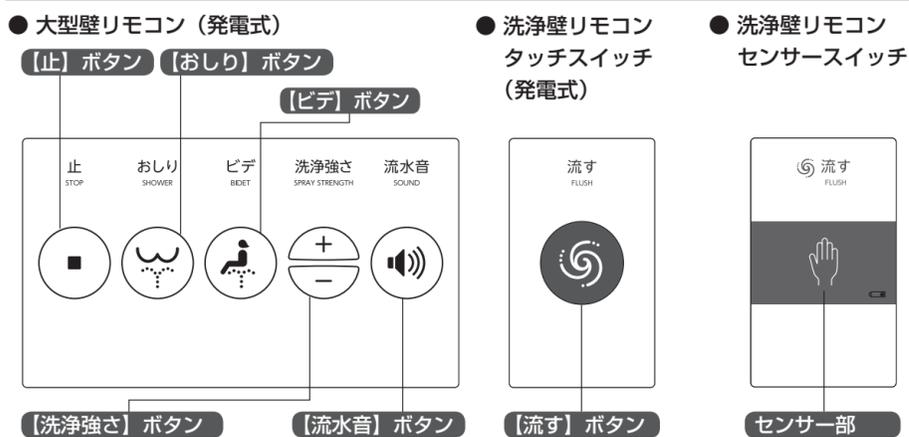
梱包内容を確認してください。



準備工具



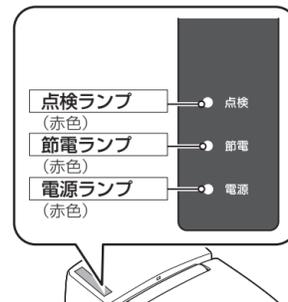
各部のなまえ



表示ランプ位置

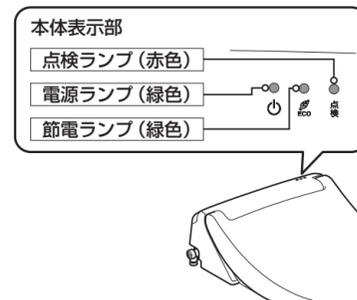
リモコンの各設定をしたとき、本体の表示ランプが連動します。

<DV-K213 型の場合>

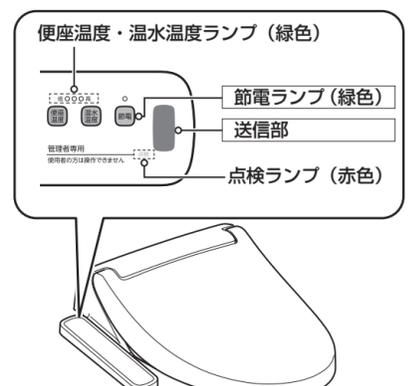


<CW-PA 型の場合>

※ 洗浄信号をオートフラッシュ C に送信します。



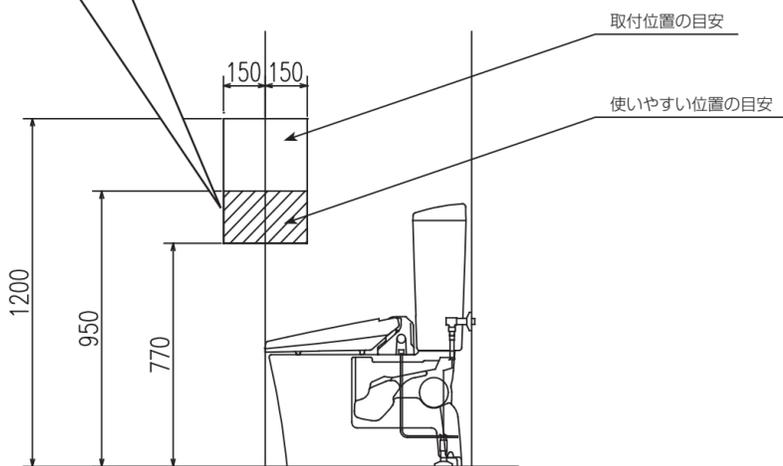
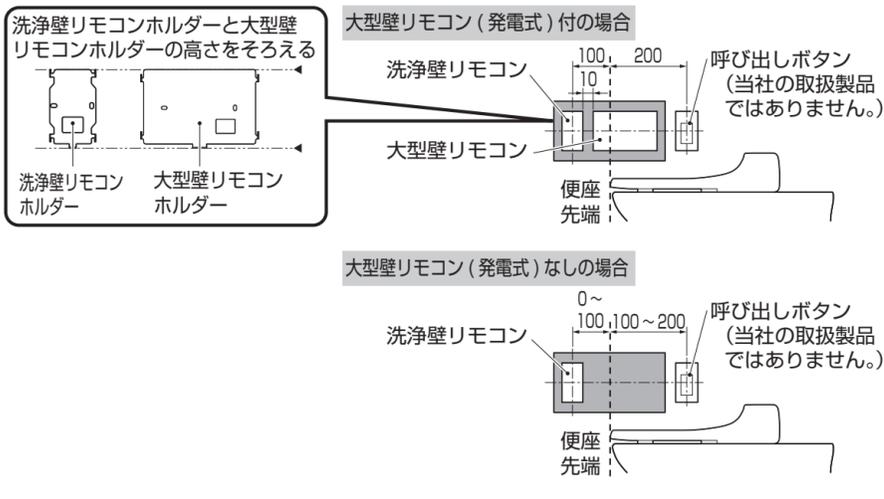
<CW-PB 型の場合>



## 施工方法

### ■リモコン位置決め

公共トイレ操作系 JIS(JIS S 0026) に対応する場合は、下記の位置に取り付けてください。



5

## 施工方法

### ■ホルダーの取付け

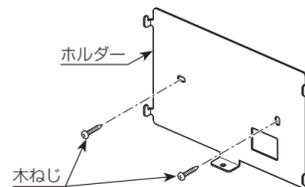
- (1) ホルダーをリモコン本体から外します。
- (2) ホルダーを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付けます。

**【注意】**  
電動工具は使用しないでください。  
※部品が破損する恐れがあります。



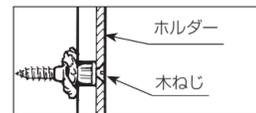
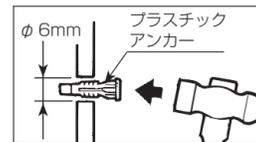
#### ●厚みが5mm以上の合板壁の場合

ホルダーを付属の木ねじでしっかりと固定します。



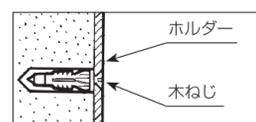
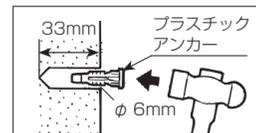
#### ●厚みが5mm未満の合板壁および石膏ボード壁の場合

- ①直径6mmの下穴をあけます。  
(石膏ボードは5mm)
- ②ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。  
締め付けていくとはじめは堅く、いったんゆるくなって再び堅くなります。

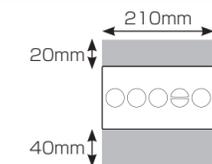


#### ●コンクリートの場合

- ①直径6mm、深さ約33mmの下穴をあけます。
- ②ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。



**【注意】**  
リモコン取付位置の上下に、リモコンを脱着する際に必要なスペース(右図参照)が十分あることを確認してください。



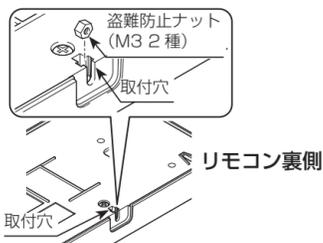
6

## 施工方法

### ■リモコンの取付け

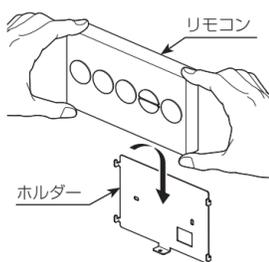
- (1) リモコン裏側の取付穴に接着剤を注入した後、ナット (M3 2種) を入れて固定する。

※接着剤でナットを固定しないと、ナットが動いて外れやすくなります。



- (2) リモコンをホルダーに収める。

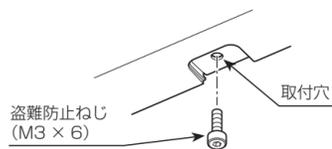
※リモコンがホルダーにはまるように押し下げて取り付けます。



- (3) ホルダー下部の取付穴に、六角レンチで盗難防止ねじ (M3 × 6) を取り付けて、リモコンを固定する。

※ホルダーとリモコン本体の取付穴が合っていること。

※接着剤が完全に硬化してから、取り付けてください。



## 試運転

### ■大型壁リモコンの場合

シャワートイレ本体の着座センサーまたは着座スイッチを入にしたまま、大型壁リモコンの【おしり】ボタンを押してシャワーが出ることを確認します。  
(試運転の方法はシャワートイレ本体の施工説明書参照)

### ■洗浄壁リモコン タッチスイッチの場合

洗浄壁リモコンの【流す】ボタンを押して、便器洗浄が出来ることを確認します。

### ■洗浄壁リモコン センサースイッチの場合

センサー部から50mm以内で約2秒手をかざして、便器洗浄が出来ることを確認します。

7

## 各設定方法

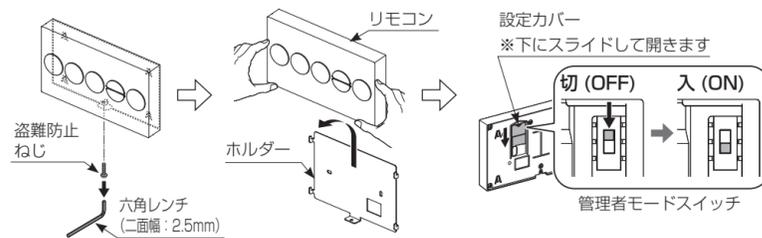
### ■流水音 (擬音装置) の設定

流水音の設定を変更することができます。

以下の操作は、便座から立ち上がって操作をしてください。便座に座った状態では操作を受け付けません。

#### ●DV-K213型, CW-PA型の場合

- 1 ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする  
※管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。  
※ホルダーから外すときは、六角レンチでリモコンを固定している盗難防止ねじを取り外してください。



#### 2

機能	① 管理者モード設定に入る	➡ ② 流水音 (擬音装置) の設定をする	機能説明
流水音量 大きく	DV-K213型 CW-PA型の場合 【節電ランプ】 と 【電源ランプ】 2回同時点滅	🔊 + + + × 2	DV-K213型 CW-PA型の場合 【節電ランプ】 と 【電源ランプ】 1回同時点滅 <sup>(※2)</sup>
流水音量 小さく	交互点滅 繰り返し (※4ページ)	🔊 - - - × 2	交互点滅 繰り返し (※4ページ)
オート 擬音 入/切 <sup>(※1)</sup>	🔊 × 2	🔊 → 🟩 → 🟩 → 🟩	オート擬音の「入/切」を変更 できます。

8



## 各設定方法

### ■ペアリング（組合せ）設定

#### 〈洗浄壁リモコン タッチスイッチ（発電式）の登録〉

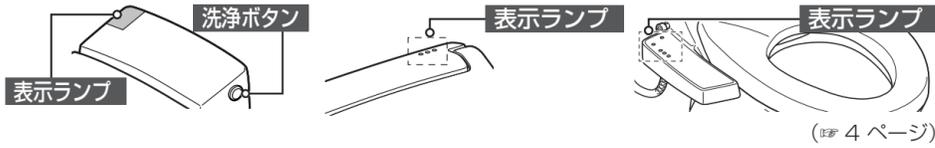


すでにリモコンがご使用できる場合は、設定は必要ありません。  
リモコンが操作できない（リモコンボタンを押しても、本体の表示ランプが点滅しない）ときは、ペアリング（組合せ）設定を行ってください。  
※トイレ本体とリモコンは、あらかじめペアで登録されていますので、同梱以外のペアで取付けると作動しません。  
※同梱以外のリモコンで取り付けてしまった場合は、以下の手順で登録し直してください。

下記の操作手順を、必ず最後まで一読してから、操作を行ってください。

※リモコンはホルダーに収めた状態で設定してください。

- DV-K213 型の場合
- CW-PA 型の場合
- CW-PB 型の場合



操作

**1** トイレ本体の電源プラグをコンセントに差し込む

**2** 10秒以内に以下の操作を行う  
(DV-K213型の場合) トイレ本体の洗浄ボタンを3回押す。  
(CW-PA型・PB型の場合) 便座を押し下げて着座スイッチを「入」にする。  
カチッ

**3** 10秒以内に【流す】を5回押す

【ペアリングの設定が完了しているか確認する場合】  
●【流す】を1回押して表示ランプが1回点滅していることを確認する

ペアリング完了

表示ランプ

**(DV-K213 型の場合)** 電源ランプの上の2つのランプ 同時点滅

**(CW-PA 型の場合)** 節電ランプ (緑色) 点検ランプ (赤色) 同時点滅

**(CW-PB 型の場合)** 節電ランプ 点検ランプ 同時点滅

**(DV-K213 型・CW-PA 型の場合)** 電源ランプの上の2つのランプの同時点滅が終了 (設定完了時)

**(CW-PB 型の場合)** 節電・点検ランプ同時点滅が終了 (設定完了時)

**(DV-K213 型の場合)** 電源ランプ 1回点滅

**(CW-PA 型の場合)** 電源ランプ (緑色) 節電ランプ (緑色) 1回点滅

**(CW-PB 型の場合)** 温水 (低) ランプ ※温水 (低) ランプが点滅しない場合は最初からやり直してください。 1回点滅

## 各設定方法

### ■ペアリング（組合せ）設定

#### 〈洗浄壁リモコン センサースイッチの登録〉



すでにリモコンがご使用できる場合は、設定は必要ありません。  
リモコンが操作できない（リモコンボタンを押しても、本体の表示ランプが点滅しない）ときは、ペアリング（組合せ）設定を行ってください。  
※トイレ本体とリモコンは、あらかじめペアで登録されていますので、同梱以外のペアで取付けると作動しません。  
※同梱以外のリモコンで取り付けてしまった場合は、以下の手順で登録し直してください。

下記の操作手順を、必ず最後まで一読してから、操作を行ってください。

※リモコンはホルダーに収めた状態で設定してください。

- DV-K213 型の場合
- CW-PA 型の場合
- CW-PB 型の場合



操作

**1** トイレ本体の電源プラグをコンセントに差し込む

**2** 10秒以内に以下の操作を行う  
(DV-K213型の場合) トイレ本体の洗浄ボタンを3回押す。  
(CW-PA型・PB型の場合) 便座を押し下げて着座スイッチを「入」にする。  
カチッ

**3** 背面のカバーを外す

**4** 精密ドライバー等でペアリングボタンを押す

【ペアリングの設定が完了しているか確認する場合】  
●センサー部に手をかざして表示ランプが点滅していることを確認する

ペアリング完了

表示ランプ

**(DV-K213 型の場合)** 電源ランプの上の2つのランプ 同時点滅

**(CW-PA 型の場合)** 節電ランプ (緑色) 点検ランプ (赤色) 同時点滅

**(CW-PB 型の場合)** 節電ランプ 点検ランプ 同時点滅

**(DV-K213 型・CW-PA 型の場合)** 電源ランプの上の2つのランプの同時点滅が終了 (設定完了時)

**(CW-PB 型の場合)** 節電・点検ランプ同時点滅が終了 (設定完了時)

**(DV-K213 型の場合)** 電源ランプ 1回点滅

**(CW-PA 型の場合)** 電源ランプ (緑色) 節電ランプ (緑色) 1回点滅

**(CW-PB 型の場合)** 温水 (低) ランプ ※温水 (低) ランプが点滅しない場合は最初からやり直してください。 1回点滅

## 併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

### ■オートフラッシュ C 対応でシャワートイレを2台以上併設する場合

CW-PA・PB型でシャワートイレを併設する場合は、他のブースのシャワートイレも反応し、便器洗浄する恐れがあります。  
この場合はシャワートイレ本体とオートフラッシュ C の洗浄信号 (カスタムコード) を、同じ信号に変更してください。



※発電式リモコンとシャワートイレ本体の間の信号は、出荷時にペアリング設定済のため、併設による誤作動は発生しません。(※2ページ)

#### ● CW-PA 型の場合

※ CW-PB 型の場合、シャワートイレ本体の施工説明書をご覧ください。

#### 1. シャワートイレ本体の信号コードを変更する

**1** ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする(※8ページ)  
※管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。

**2** を2回押す

→管理者モード設定に入り、本体表示部の電源・節電ランプが2回同時点滅したあと交互に点滅を繰り返します。

**3** 変更したいカスタムコードの信号の操作ボタンを→の順番に押す

内容	操作	内容	操作
カスタムコード信号0 (初期設定)	→  →  →	カスタムコード信号4	→  →  →
カスタムコード信号1	→  →  →	カスタムコード信号5	→  →  →
カスタムコード信号2	→  →  →	カスタムコード信号6	→  →  →
カスタムコード信号3	→  →  →	カスタムコード信号7	→  →  →

→セット完了すると、本体表示部の電源・節電ランプが1回同時点滅したあと交互に点滅を繰り返します。

**4** 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める(※9ページ)

**5** を1回押して、通常モードに戻る

→管理者モードが終わり通常の使用状態に戻ります。

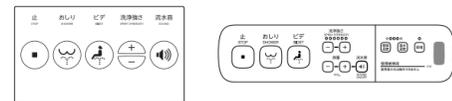
【注意】 **1** ~ **3** の途中で動作をやめてしまった場合は、通常の状態に戻ります。

#### 2. オートフラッシュ C 本体の受信信号を変更する

**6** オートフラッシュ C 本体の受信信号を、シャワートイレと同じカスタムコードへ変更する  
※変更方法はオートフラッシュ C の施工説明書「施工方法」7各種設定「シャワートイレ自動洗浄対応設定」をご覧ください。

## 併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

### ■他のブースからの赤外線式リモコンで誤作動してしまった場合



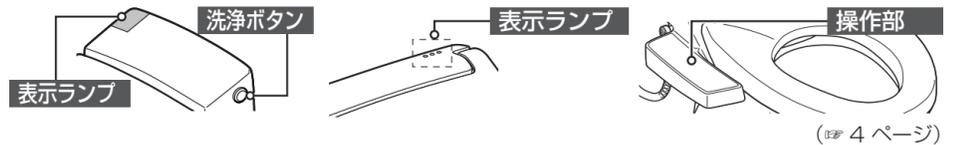
他のブースの自社の赤外線式リモコンを受信して、誤作動してしまった場合は、下記の設定を行って赤外線を受信を解除してください。

下記の操作手順を、必ず最後まで一読してから、操作を行ってください。

※リモコンはホルダーに収めた状態で設定してください。

管理者モードスイッチを【入】にした状態で設定を行うと、異なる設定になる場合があります。  
必ず管理者モード用スイッチを【切】にして操作してください。

- DV-K213 型の場合
- CW-PA 型の場合
- CW-PB 型の場合



操作

**1** トイレ本体の電源プラグをコンセントに差し込む

**2** 10秒以内に以下の操作を行う  
(DV-K213型・CW-PA型の場合) ペアリングしている大型壁リモコン (発電式) の【おしり】を5回押す。  
(CW-PB型の場合) シャワートイレ本体操作部の【おしり】を5回押す。

解除完了

表示ランプ

**(DV-K213 型の場合)** 点検ランプ 節電ランプ 同時点滅

**(CW-PA 型の場合)** 節電ランプ (緑色) 点検ランプ (赤色) 同時点滅

**(CW-PB 型の場合)** 節電ランプ 点検ランプ 同時点滅